

平成23年度 第5回 長野市総合計画審議会

資料集

資料1

第四次長野市総合計画 後期基本計画パブリックコメントの結果について 1

別冊資料

第四次長野市総合計画 後期基本計画 答申（案）

平成23年12月20日

長野市

第四次長野市総合計画 後期基本計画パブリックコメントの結果について

1 趣旨

長野市総合計画審議会において、平成22年7月から第四次長野市総合計画 後期基本計画 の策定を進めたところ、平成23年9月29日に市長へ中間答申がありましたので、まちづくり意見等公募制度により、その内容を公表し、市民のみなさんからご意見等を募集（パブリックコメント）しました。その結果をお知らせするものです。

2 意見等の募集期間

平成23年10月7日（金）～11月14日（月） 39日間

3 広報実績について（報告）

(1) プレスリリース 【10/7 13:30～記者会見】

- ①10/4 信濃毎日新聞朝刊 中間答申の記事と意見募集について
- ②10/15 長野経済新聞 中間答申の記事と意見募集について

(2) 窓口での閲覧 【10/7～11/14】

企画課、行政資料コーナー、27支所、2連絡所(信里・柵)、2連絡室(バスターミナル・大門)

(3) 市ホームページ（トップページお知らせ） 【10/7～11/14】

(4) 広報ながの11月1日号（特集記事1ページ分） 中間答申の概要と意見募集について掲載

(5) 長野市メールマガジン メール末尾の「新着情報」【10/13配信分】へ意見募集について掲載

(6) 市政テレビ 【10月22日放送分】 ⇒ 番組の最後30秒程度でお知らせ

(7) トイーゴビジョン 【10/19～31、11/1～13】 ⇒ 1日5回放送

(8) 有線放送等（16/32地区） 【10/8～11/13】

⇒中間答申の概要と意見募集について、期間中、週2～3回程度、放送

- ①有線共設協会（古里、浅川、大豆島、若槻、七二会、篠ノ井、松代、若穂、川中島、更北）
- ②合併地区有線（戸隠、鬼無里、信州新町、中条）
- ③防災無線（豊野、大岡） ※各戸設置の地区のみ

4 意見等

(1) 意見等数 12件（4人）

(2) 提出方法の内訳

郵送	FAX	Eメール	持参	その他	合計
0件	0件	3件	1件	0件	4件

(3) 項目別の内訳

	項目	件数
1	行政経営分野に関する事	2件
2	保健・福祉分野に関する事	0件
3	環境分野に関する事	1件
4	防災・安全分野に関する事	1件
5	教育・文化分野に関する事	2件
6	産業・経済分野に関する事	6件
7	都市整備分野に関する事	(産業・経済分野関連の再掲3件)
	合計	12件

(4) 意見等の内容

意見等に対する長野市の考え方と計画への反映状況等は、第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申に対する意見（別紙）のとおり

第四次長野市総合計画 後期基本計画 中間答申に対する意見

別紙

長野市まちづくり意見等公募制度により、第四次長野市総合計画 後期基本計画中間答申を市民に公表し、平成23年10月7日から11月14日まで（39日間）、市民の皆さんからご意見等を募集（パブリックコメント）しました。

この表は、いただいたご意見とご意見に対する長野市の考え（状況説明）、後期基本計画への意見の反映状況をまとめたものです。

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
1	行政経営	011-02 開かれた市政の推進 (P19)	<p>市民意識（要望）を反映した計画の内容、市政運営を望みます。</p> <p>【提案理由】 取り巻く社会情勢の変化＝グローバルかつドメスティックな大きな変化であり、地域に暮らす市民の生活（インフラ、経済基盤、安心・安全、将来への不安、環境・健康など）への不安要素を取り除くために市民意識を反映してほしい。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 後期基本計画の策定に当たっては、市民の皆さんへアンケート調査を実施したほか、元気なまちづくり市民会議をはじめ各種会議等に出席された市民の皆さんからまちづくりへの意見を求めるとともに、55名の市民の皆さんと行政との協働により計画の策定を進めてきました。 後期基本計画の実施段階では、様々な広聴活動を通じて、市民意識の把握に努めながら、施策の優先度を決め、市政運営に努めてまいりたいと考えています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【011-02④現行の記述】 (P19) ④みどりのはがき、市民会議、まちづくりアンケートなどの積極的な広聴活動を通じて、市民ニーズを把握し、市政に反映できるよう努めます。（広報広聴課）</p>
2	環境	221-01 エネルギーの適正利用 (P67)	<p>長野市は将来的に環境、ロボット産業、医療福祉を含め、高齢者も働ける都市として環境未来都市（新成長戦略（平成22年6月18日閣議決定））を目指してほしい。</p> <p>【提案理由】 環境未来都市を目指すために、スマートグリッド※、再生可能エネルギー、ロボットの開発など情報工業技術などに力を入れ、信州大学工学部、長野工業高等専門学校、大手民間企業メーカー（誘致支援）と自治体がタイアップして取り組むことが必要です。</p> <p>※電力網にIT技術を導入して情報の通信や制御を行い、電力利用を最適化する次世代の電力網のこと。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 現在、本市では、目指す望ましい環境像に「地域産業の発展と環境の保全が良好な循環を生むまち」を掲げ、環境保全を経済成長要因の一つとして捉えた様々な取組を実践または支援しています。 ご提案いただきました「環境未来都市」の実現は、その取組の延長上にあると考えていますので、関係省庁の取組等、今後の動向に注視しながら、引き続き取り組んでまいります。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【221-01②現行の記述】 (P67) 太陽光発電システムやペレットストーブ設置の支援などによる再生可能エネルギーの導入・活用を推進します。（環境政策課） 【221-01④現行の記述】 (P67) 市有施設への省エネルギーや再生可能エネルギーの率先導入を図り、ベストミックス化によるエネルギー管理を促進します。（環境政策課）</p>

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
3	防災・安全	311-01防災体制の整備（P79）	<p>長野市として「業務継続計画（BCP）※」の策定を求めます。</p> <p>※Business Continuity Plan：重要業務をなるべく中断させず、中断しても早期に復旧させるための計画のこと。事前のバックアップ準備やリスク軽減、災害時応急対応、復旧手順の明確化、指揮命令系統の確保などを行い、被害の影響を最小限にとどめることを目的とする。</p> <p>【提案理由】 地方自治体が作成する「地域防災計画」にはいくつかの問題があります。 ①地域防災計画の実施主体の自治体が「被災していない」という想定になっています。 ②災害発生時に優先して復旧させる重要業務や重要システムが特定されておらず、具体的な復旧体制・手順や行動計画が整っていません。 地方自治体は、災害時において住民の生命の確保、被災者支援、企業活動復旧のための応急・復旧業務はもちろん、市民の日常生活に必要な業務を継続させる必要があります。 そのためには情報システムが必要不可欠であり、災害時にも情報システムが正常に稼働していることが必要です。情報システムは、被害を受けてからの事後的な復旧に時間を要する特性があるため、復旧が遅れることで住民や企業に甚大で回復困難な損害を生じさせてしまう可能性もあります。 そのため、地方公共団体における行政機能の業務の継続力を高めていくことが必要です。</p>	<p>ご意見・ご提案をもとに、BCPの考え方が明確に分かるよう「災害時において市民生活に必要な業務を継続できる体制づくりを進める」ことについて加筆します。</p> <p>【状況説明】 現在、東日本大震災相当の大規模な被害想定を踏まえ、長野市地域防災計画の見直しを進めています。 ご指摘のとおり、業務継続計画（BCP）の考え方は重要であることから、災害時においても市民生活に必要な業務を継続できる体制を構築するとともに、災害時に優先して復旧させる重要業務等についても、個別の計画において、実施手順等をまとめておくことが必要であると考えています。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>【311-01⑤修正前】 ⑤防災拠点となる庁舎等の整備や、防災情報システムの整備・高機能化を推進します。また、地域や関係機関などと連携し、災害情報が迅速かつ確実に共有できる体制づくりに努めます。（危機管理防災課、消防局総務課、警防課、通信指令課、第一庁舎・長野市民会館建設事務局）</p> <p>【311-01⑤修正後】（P79） ⑤防災拠点となる庁舎等の整備や、情報システムなどの整備・高機能化を図り、災害時において市民生活に必要な業務を継続できる体制づくりを進めます。また、地域や関係機関などと連携し、災害情報が迅速かつ確実に共有できる体制づくりに努めます。（危機管理防災課、情報政策課、消防局総務課、警防課、通信指令課、第一庁舎・長野市民会館建設事務局）</p>

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
4	教育・文化	431-01 文化芸術活動への支援と文化の創造 (P95)	<p>音楽フェスティバルを積極的に誘致し、開催を支援するなど、恒例化したイベントに育て上げてほしい。</p> <p>【提案理由】 歌舞伎、ジャズ、世界的に有名な音楽、芸術、コンサートを誘致し、開催を支援していくことでまちに活力が生まれ、長野市の知名度が上がります。海外にも積極的に情報発信していくことも必要です。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 優れた舞台芸術等の文化芸術事業の企画・開催については、長野市文化芸術振興計画に基づきクラシック音楽を中心とした各種のコンサートの企画・開催などを実施してまいります。 また、本市は文化芸術活動の主役を「市民」ととらえ、JR長野駅コンコース街角コンサートや長野市風景画展の開催など市民が主役となる事業に取り組んでおり、表現活動を行いたい市民の発表場所の確保などの支援を進めています。 これらの文化芸術活動を“ながの”独自の文化に育てながら、大勢の皆さんに関心を持ち、参加していただけるよう情報発信もしていきたいと考えています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【431-01②現行の記述】 (P95) ②参加・育成型の文化芸術活動を促進するとともに、市民の自主的で創造的な文化芸術活動を支援します。（生涯学習課） 【431-01③現行の記述】 (P95) ③歴史と風土に育まれた“ながの”独自の文化を効果的に情報発信するとともに、文化芸術資産のデジタルアーカイブ化※を図ります。また、郷土の文化や質の高い文化芸術にふれる機会の充実を図ります。（生涯学習課）</p>
5	教育・文化	441-03スポーツ環境の整備・充実 (P100)	<p>南長野総合球技場サッカースタジアムの整備拡充を求めます。</p> <p>【提案理由】 長野市にホームを置くAC長野パルセイロは、現在JFL（日本フットボールリーグ）第2位、4位以上で本来ならJリーグ入りを果たせる好成績ですが、Jリーグの定めるスタジアム規模を持っていないため、このままではJFLから上のカテゴリーであるJ2に進むことができません。 チーム及びサポーターはスタジアムの整備に向けた署名活動に取り組んでおり、10月5日現在、目標の4万を大きく超え、47,469筆が集まりました。 南長野総合球技場は日本サッカーリーグ名誉会長から「世界レベルのピッチ（芝）」と評されたこともあり、このピッチをもってスタジアム拡充を果たせば、AC長野パルセイロにとって大きなアドバンテージになるだけでなく、スタジアム自体も東北信地域にとっても大きな財産になるはずです。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 本市では、「スポーツを軸としたまちづくり」を推進するため、AC長野パルセイロや信濃グランセローズなどの地域密着型スポーツチームへの支援を行っています。 特に、本市をホームタウン（活動拠点）として活動しているAC長野パルセイロについては、周辺自治体や関係団体とも連携しながら支援を行っています。 同チームのホームグラウンドである南長野運動公園総合球技場については、現在、改修に向けた検討を進めているところです。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【441-01②現行の記述】 (P98) ②地域の特性に応じた総合型地域スポーツクラブなどの創設・育成を支援するとともに、地域密着型スポーツチームの活動を支援します。（体育課） 【441-03①現行の記述】 (P100) ①大規模スポーツ施設を計画的に改修・整備し、国際的・全国的スポーツ大会の開催や選手強化のための使用など有効活用を図ります。また、エムウェーブとスパイラルのナショナルトレーニングセンターとしての機能を発揮していきます。（体育課）</p>

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
6	産業・経済	511-01 訪れてみたい地域づくり（P105）	<p>飯綱東高原エリア付近などにアウトレットモールを積極的に誘致し、リゾート化し、ブランド化することで観光客の層を広めてほしい。</p> <p>【提案理由】 北陸新幹線の開業後を見据え、信越本線の存続を考えたときに、飯綱東高原一体を活用していく必要があります。 買い物をした人にスキーリフト無料や宿泊割引、シャトルバス無料で市内観光をサービスするなど、多様なサービスを工夫して提供することで、地域経済が活性化します。 海外観光客にもアピールしていくことも必要です。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 飯綱東高原（上水内郡飯綱町）に隣接する飯綱エリアでは、地域が主体となり、自然や芸術・音楽など独自の魅力をいかした「オトナリ高原いづな」のブランド化を進めているところです。 観光地のブランド化に当たっては、それぞれの地域が持つ歴史や自然などの観光資源を最大限いかし、地域住民や観光関連事業者などとも連携しながら、進めてまいりたいと考えています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【511-01①の現行の記述】（P105） ①地域住民や観光関連事業者などと行政の連携を強化し、地域独自の魅力をいかした観光ブランドの創造と確立を推進します。（観光課） 【511-01②の現行の記述】（P105） ②地域の歴史・文化や自然、名物など四季折々の魅力をいかした観光メニューの創出により滞在型・通年型観光への転換を図ります。（観光課、施策431-02関連）</p>
7	産業・経済 行政経営	511-02 効果的な情報発信と広域的連携（P105） 032-01 多様な都市間ネットワークの形成（P27）	<p>他県の門前町と連携し、門前町おこしを積極的にアピールすることで、長野市の知名度を上げてほしい。</p> <p>【提案理由】 上田市と連携した真田城下町おこしや上越市と連携し、川中島、高田城をアピールすることが必要です。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 現在、「真田サミット」や「義仲・巴」広域連携推進会議などの取組を通じて、縁のある都市と連携した観光PRを実施しています。 また、上越市、金沢市、甲府市、静岡市と「集客プロモーションパートナー都市協定」を締結しており、「川中島の戦い」に縁のある上越市、甲府市と連携した観光PRや、相互の情報発信などを行っています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【511-02③現行の記述】（P105） ③北信濃エリアや北陸新幹線沿線の都市、歴史や文化を介した「縁」のある都市など、関係する自治体や事業者などと連携を図りながら、魅力的な広域観光エリアの形成と新たな観光ルート・観光スタイルの提案を進めます。（観光課、施策032-01関連） 【032-01①現行の記述】（P27） ①集客プロモーションパートナー都市協定※による交流など、観光・産業・文化分野で「縁」のある都市や地域との相互連携を推進します。（観光課、施策511-02関連）</p>

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
8	産業・経済	531-01 産学行連携の推進とものづくり産業の振興（P117）	<p>地域の活力を産み出す未来志向の産業政策、成長戦略が必要です。</p> <p>【提案理由】 従来の産業政策の延長では地域の活力は産み出せないため、長野市の都市機能を首都圏のバックアップ都市、日本海と太平洋を結ぶハブ都市などの新たな発想が必要です。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 企業の新分野開拓などの取組を支援するとともに、企業（産業界）や大学等の学術研究機関と連携し、今後の成長が期待される先端技術（ナノテクノロジーなど）を基盤とした新産業の創出・育成などに向けた取組を進めています。 ご意見の趣旨を含め、今後とも都市機能を高めてまいりたいと考えています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【531-01②現行の記述】（P117） ②産学連携や企業連携による製品の高付加価値化や新分野開拓などの共同研究開発を支援するとともに、地域の課題を解決するための技術開発を促進します。（商工振興課、施策411-03関連） 【531-01③現行の記述】（P117） ③ナノテクノロジーやバイオテクノロジーなどを基盤とする新産業の創出・育成に向けた調査・研究を進めます。（産業政策課、商工振興課）</p>
9	産業・経済	541-01 中心市街地の魅力づくり（P120） 541-02 創業者や商店街の意欲的な取組への支援（P120） 611-01 秩序ある市街地の形成と中心市街地の再生（P125）	<p>閉塞的なまちづくりから開放された明るいまちづくりを進めてほしい。</p> <p>【提案理由】 現状では、松本や上田、佐久と比べても長野市は活気がなく、差が出ていると感じています。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。</p> <p>【状況説明】 大型店の撤退した中心市街地において、「もんぜんぶら座」や「トイゴ」、「ぱていお大門」などの活性化の拠点整備や、中心市街地空き店舗等活用事業による空き店舗の解消と賑わいの創出など、明るく活気のあるまちづくりにつながる取組を進めてきました。 今後とも、いただいたご意見も参考にしながら、関係団体と連携し、まちの賑わいを創出するための取組を進めてまいりたいと考えています。</p>	<p>現行の記述のとおりとします。</p> <p>【541-01①現行の記述】（P120） ①まちづくりに関わる民間団体などとの協働により、中心市街地の賑わいの創出や利便性の向上など、商業環境づくりに向けた取組を促進・支援します。（商工振興課、施策611-01関連） 【541-01②現行の記述】（P120） ②中心市街地の街並みなどの整備に合わせ、観光客や消費者のニーズを考慮した魅力ある商店街づくりを促進し、賑わいの創出と回遊性の向上を図ります。（商工振興課、まちづくり推進課、施策611-01関連） 【542-02②現行の記述】（P120） ②集客や賑わいの創出など商業の活性化につながるイベントを支援します。（商工振興課） 【611-01⑦現行の記述】（P125） ⑦交流拠点の整備、低・未利用地の利活用、再開発事業と商業の一体的な取組などにより、多様な都市機能を集積し、中心市街地の再生を推進するとともに、まちなか居住を促進し、コミュニティの再生を図ります。（まちづくり推進課、住宅課、施策541-01関連）</p>

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
10	産業・経済	541-01 中心市街地の魅力づくり (P120) 611-01 秩序ある市街地の形成と中心市街地の再生 (P125)	長野駅前「ルクア」「ルミネ」のような総合プロデュースされた商業施設を積極的に誘致支援し、長野市以外からも買い物に訪れる人を増やしてほしい。 【提案理由】 現状では、市外から長野市に買い物を目的として行く人は少ないからです。	後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。 【状況説明】 本市は、JR長野駅善光寺口にふさわしい土地の高度利用と安全で防災性の高いまちづくりを進めるため、地元再開発組合への支援により再開発を進め、良好な商業環境の形成を図ってきました。 平成9年に長野駅前A-2地区（ウエストプラザ長野）、平成18年に長野駅前A-1地区（エーワンシティ）、平成22年に長野駅前A-3地区（Nacs末広）が完成しました。 商業施設の立地は、地域の生活環境に多大な影響を及ぼすものであるため、適正な商業施設の立地の促進と良好な商業環境の形成を目的に策定した、本市の「商業環境形成指針」に基づき、総合的に判断しながら進めてまいります。	現行の記述のとおりとします。 【541-03⑤現行の記述】 (P121) ⑤本市の土地利用や地域づくりとの整合を図りながら、適切な商業施設の立地と良好な商業環境の形成を図ります。（商工振興課、施策611-01関連） 【611-01⑦現行の記述】 (P125) ⑦交流拠点の整備、低・未利用地の利活用、再開発事業と商業の一体的な取組などにより、多様な都市機能を集積し、中心市街地の再生を推進するとともに、まちなか居住を促進し、コミュニティの再生を図ります。（まちづくり推進課、住宅課、施策541-01関連）
11	産業・経済 都市整備	541-01 中心市街地の魅力づくり (P120) 611-01 秩序ある市街地の形成と中心市街地の再生 (P125)	権堂のアーケードの活性化に取り組んでほしい。 【提案理由】 活性化のための具体的提案は次のとおりです。こうしたまちをアピールしていくことが必要です。 ・総合プロデュースされた門前町風な雰囲気を整備し、江戸門前町商店街を歩いているかのような佇まいを整備する。 ・落ち着いた雰囲気の中にもジャズ、ブルース、ボサノバなど演奏や音楽が流れる中で買い物ができる環境を作る。そうすれば、年齢層の幅も広がり、観光客も訪れたいスポットになる。 ・ルミネやワハハ本舗などの劇場を誘致し、協力して権堂を娯楽のスポットとする。	後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。 【状況説明】 現在、中心市街地空き店舗等活用事業により、権堂地区を含めた、中心市街地における空き店舗の解消と賑わいの創出を図っています。 また、権堂地区は、商業等が集積した重要な拠点の一つであることから、本年（平成23年）1月から、地域住民・民間団体・学識経験者等から構成する権堂地区再生検討委員会等において、「権堂地区再生計画」の策定に向け、権堂の歴史と文化等をいかした魅力あるまちづくりを検討しているところです。	現行の記述のとおりとします。 【541-01①現行の記述】 (P120) ①まちづくりに関わる民間団体などとの協働により、中心市街地の賑わいの創出や利便性の向上など、商業環境づくりに向けた取組を促進・支援します。（商工振興課、施策611-01関連） 【541-01②現行の記述】 (P120) ②中心市街地の街並みなどの整備に合わせ、観光客や消費者のニーズを考慮した魅力ある商店街づくりを促進し、賑わいの創出と回遊性の向上を図ります。（商工振興課、まちづくり推進課、施策611-01関連） 【611-01⑦現行の記述】 (P125) ⑦交流拠点の整備、低・未利用地の利活用、再開発事業と商業の一体的な取組などにより、多様な都市機能を集積し、中心市街地の再生を推進するとともに、まちなか居住を促進し、コミュニティの再生を図ります。（まちづくり推進課、住宅課、施策541-01関連）

整理番号	分野	中間答申の該当箇所	意見要旨（提案理由）	長野市の考え（状況説明）等	後期基本計画への反映状況（答申案の該当箇所）
12	行政経営	第四編 財政推計 (P138)	<p>中期的な財政計画を設計し、財源調達に責任を持ち、計画を着実に実行する内容を公表してほしい。</p> <p>【提案理由】 後期基本計画に財政推計を掲載していますが、考え方は踏み込み不足です。総合計画を実現するために、財政規律はもとより財源調達にも責任をもって取り組む方針（行政ガバナンス）や目標を策定し、その内容を情報開示（開示手法の工夫）していく必要があります。</p>	<p>後期基本計画は、ご意見・ご提案の趣旨を踏まえ作成しています。 なお、財政推計について、平成22年度決算を反映させたことに伴い、字句の整理・修正をしています。</p> <p>【状況説明】 地方自治体の財政状況、特に財源の確保は、国の政策や税制改革、景気動向により大きな影響を受けます。そのため、第四次長野市総合計画後期基本計画では、施策展開に向け、今後の本市財政の「全体的なイメージ」を示すため、毎年、予算編成に併せて作成している財政推計を掲載しています。 後期基本計画に掲げた施策達成に向け、財政推計では、中長期的な観点から、本市が推進する施策の実現と財政規律の確保を図る指針としています。 また、社会経済情勢への柔軟な対応や具体的な取組、事業の内容を定めた実施計画は3年の計画として作成し、予算額及び財源内訳を公表してまいります。併せて、アンケート指標や基本施策指標に基づく進捗状況を評価することにより、計画の着実な推進を図ってまいります。</p>	<p>次のとおり修正します。</p> <p>【中間答申に掲載した財政推計の内容】 1 財政推計 第四次長野市総合計画後期基本計画の施策展開に向け、今後の本市財政の「全体的なイメージ」を示すため、中長期的な財政推計を掲げます。 この推計は、平成23年3月に推計したもので、今後見込まれる社会保障関係費の増大への対応や本市が取り組む施策の実現を図る上で、財政運営上の参考として作成したものです。 なお、財政推計は、中長期的な観点から、本市が推進する施策の実現と財政規律の確保を担保するため、毎年、予算編成に併せて作成しているものです。</p> <p>【答申案に掲載する財政推計の内容】 (P138) 1 財政推計 第四次長野市総合計画後期基本計画の施策展開に向け、今後の本市財政の「全体的なイメージ」を示すため、中長期的な財政推計を掲げます。 財政推計は、今後見込まれる社会保障関係費の増大への対応や本市が取り組む施策の実現を図る上で、財政運営上の参考とするため、毎年、予算編成に併せて作成しているものです。 また、財政推計は、中長期的な観点から、本市が推進する施策の実現と財政規律の確保を図る指針とするものです。 なお、この財政推計は、平成23年3月時点の推計に平成22年度決算を反映させ作成しました。</p>